

経営比較分析表（令和3年度決算）

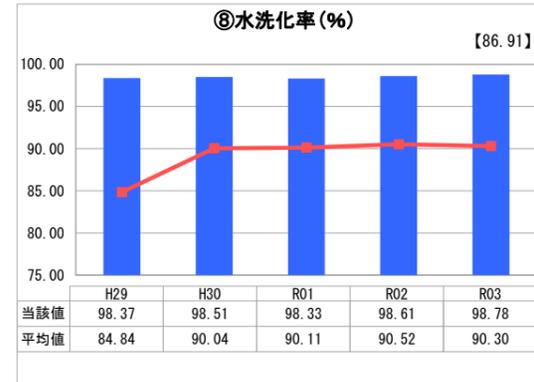
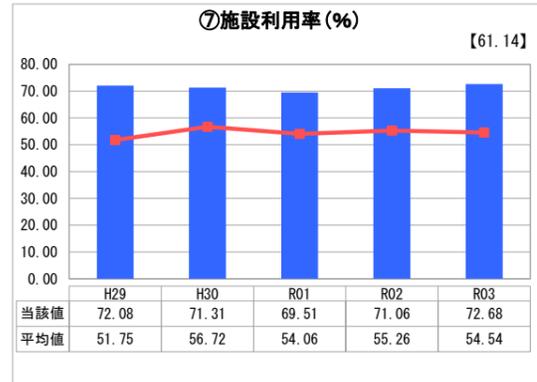
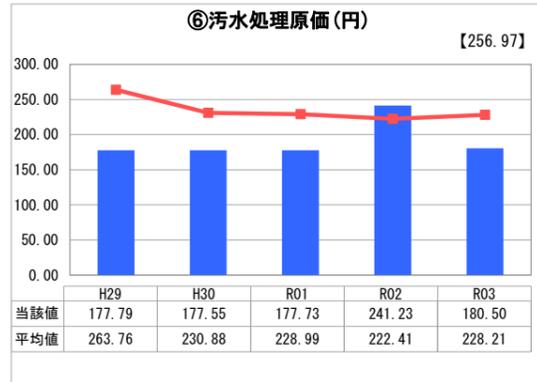
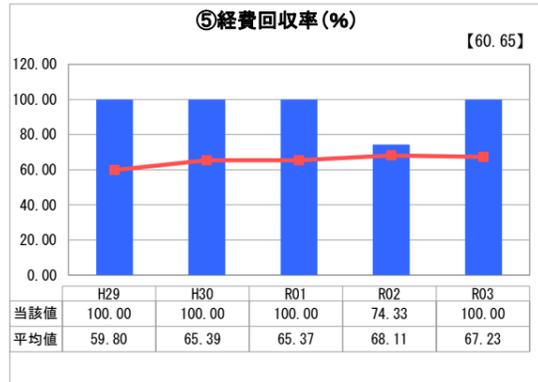
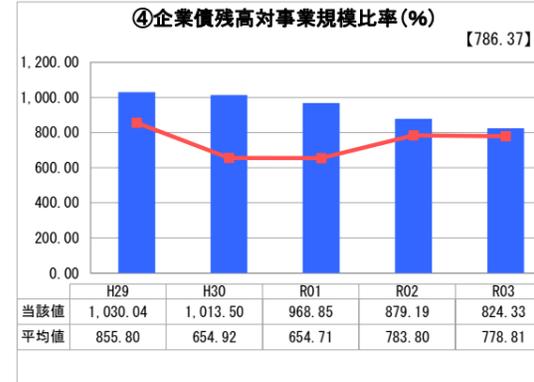
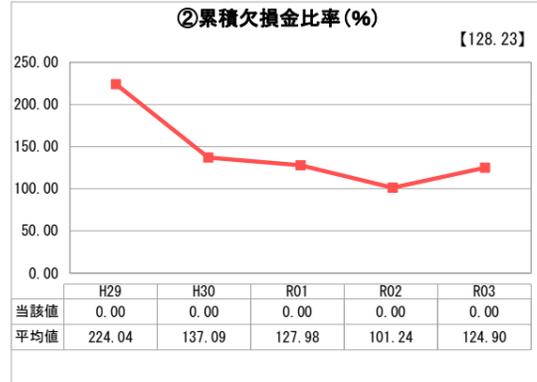
富山県 高岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.40	2.11	74.30	3,476

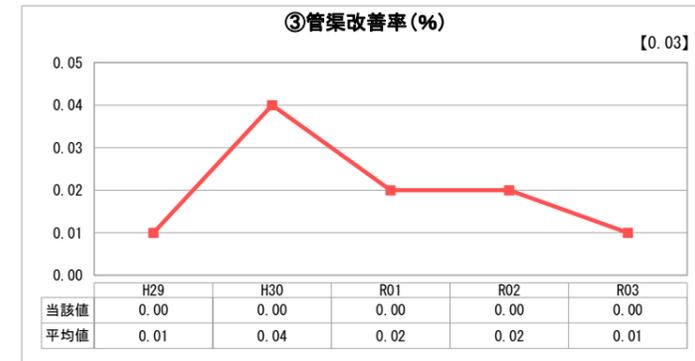
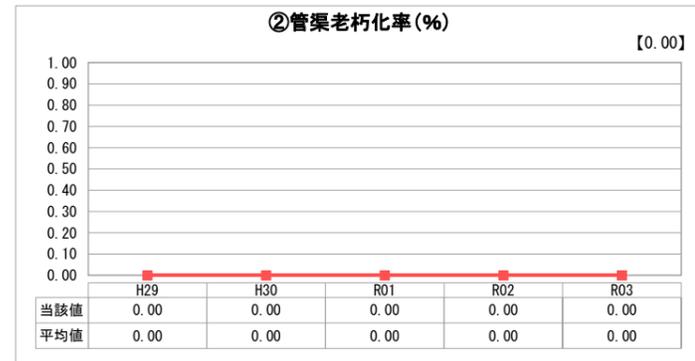
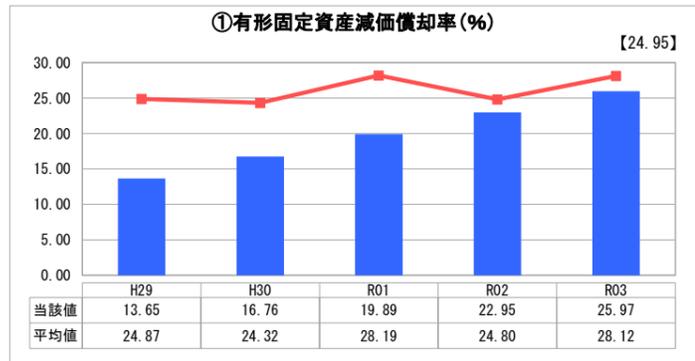
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
167,216	209.57	797.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,516	1.52	2,313.16

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・①経常収支比率は、100%を保持し、②累積欠損金は発生しておらず健全な経営状況にあると言える。今後も業務効率化を図る中、健全経営に努めていきたい。
- ・③流動比率は、企業債の償還金が大きく、全国・類似団体平均よりも低い水準にある。
- ・④企業債残高対事業規模比率は、全国・類似団体平均を上回っているものの、企業債の発行額を企業債償還額以下に抑制しているため、企業債残高は年々減少しており、今後も減少傾向で推移していく。
- ・⑤経費回収率は、100%となっており、適切な使用料水準であると言える。今後も業務の効率化を図る中、使用料水準を維持できるように努めていきたい。
- ・⑦施設利用率は、全国・類似団体平均を上回っているが、人口減少により処理水量は減少傾向にある。今後の需要を見極める中、施設規模の見直しを図る必要がある。
- ・⑧水洗化率は、全国・類似団体平均を上回っているものの、水洗化人口は、人口減少に伴い減少傾向にある。

2. 老朽化の状況について

- ・①有形固定資産減価償却率は、平成26年度から地方公営企業法を適用しており、類似団体平均を下回っている。
- ・②管渠老朽化率は、事業着手が比較的浅いため、法定耐用年数を超えた管渠はない。

全体総括

・効率的な事業運営に努めた結果、経常収支比率、経常収支比率は100%以上であり、概ね健全な経営状況であると言える。しかし、企業債償還金の負担が大きいため流動比率が低く、今後さらなる経営改善が必要である。また、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境は今後ますます厳しくなると予想される。

・今後、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれることから、流域下水道への接続を検討するなど、効率的な事業運営に努めていく必要がある。

・令和3年度に、本市の経営戦略である「高岡市上下水道ビジョン」の見直しを行っており、後期事業目標を達成するために計画的に取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。